

10月20日
報 告

強制連行中国人被爆者の遺族・孟憲法さん 平和公園訪問記

金子 哲夫

「中国人受難者を追悼し平和と友好を祈念する集い」に参加するため来広された孟憲法さんの平和公園訪問の案内役を今年も務めることになりました。

20日の午前9時、原爆慰霊碑前で待ち合わせをし、慰霊碑への黙祷、献花から案内はスタートをしました。



原爆慰霊碑に収められている死没者名簿について、少しだけ紹介しました。この死没者名簿には、強制連行された中国人被爆者のうち即死したと言われる5人の名前は登載されていることを紹介しました。

献花後は、原爆資料館に移動し資料館の見学です。エスカレーターで移動した3階では、導入展示とも言える広島市の地形模型に映像を投影する「焦土と化した広島」を案内しました。

孟憲法さんの父・孟昭恩さんたち強制連行された中国人が被爆した広島刑務所の位置を示します。爆心地からの距離を示しながら、被害の状況を説明しました。熱心に聞き取っておられる姿が印象に残ります。

東館から本館への通路は、月曜日の早い時間帯でしたが、すでに長い行列が出来ていました。やっとたどり着いた本館の展示室は、人並みであふれ進むのもままならないような状況です。

多くの参観者でじっくりと見学することは出

来ませんので、なぜ子どもたちの遺品が展示の中心になっているのか、熱線、爆風がどんなに強力だったのか、黒い雨は安野にも降ったことなどを紹介しました。

1時間余りの見学を終え資料館を出たところで、ベンチに腰掛け少し休憩をしました。二人きりになりましたので、孟さんが、18日の集会で「思い出」として話された宮崎安男さんのことを色々と尋ねました。宮崎さんが、その後も何度も手紙などを寄せられたこと、そしてわが家にずっと飾っている宮崎さんと私が写った写真を見せながら、私と宮崎安男さんとの深い深い繋がりも紹介しました。

「宮崎さんからの手紙は、今も保存されているのですか。もしあれば、どんなものか見てみたいですね」

「大事なものですのでなくしてはいません。ただ、何回か引っ越しをしましたので、倉庫の中に入っています。帰ったら、探してみます。見つかったらコピーを送りますよ」

宮崎さんの優しさを思い出させてくれる私にとって一番の嬉しい話でした。



少しの休憩後、「韓国人原爆犠牲者慰霊碑」「供養塔」を案内しました。

「韓国人原爆犠牲者慰霊碑」では、中国人と同じように犠牲を強いられた朝鮮半島出身者のことを中心に、日本人だけでない原爆被害について紹介しました。

「供養塔」はどうしても案内したかった場所



です。即死したと言われる 5 人の中国人の遺骨は、1950 年代後半にこの供養塔に納められた遺骨の中から 5 体分が、遺骨送還されましたが、まだこの供養塔の中に眠ったままの遺骨があることと思われることです。

一緒に黙祷をささげました。

最後に訪れたのは、「国立広島原爆死没者追悼平和祈念館」（以下「追悼祈念館」）です。「追悼祈念館」では、遺影コーナーですでに登録されている孟昭恩さんの遺影を確認しました。遺影を確認するためには、追悼空間を通らなければなりませんので、昨年と同じように追悼空間へのスロープにある 6 枚の説明板を紹介しました。3 枚目の「中国出身者も含まれており、その中には半強制的に徴用された人々もいました。」の文言の説明後には、中国語の翻訳文を確認するように熱心に読んでおられました。

最後に遺影コーナーで孟昭恩さんの遺影を検



索し、改めて孟さんの在りし日をしのび、平和公園訪問は終了しました。

会費納入とカンパをお願いいたします！

いつも皆様にご支援・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

10 月に中国から遺族・孟昭恩さんをお招きしましたので、招請費用として 359,417 円がかかりました。お二人を招請予定でしたが来日されたのはお一人でしたから、予定より少ない出費ですみました。招請にあたり、多くの皆様から会費とカンパを納入していただきました。ありがとうございました。心から感謝いたします。

会の活動は会員の皆様の会費とカンパで運営しています。今年度の会費が未納の方は納入をお願いいたします。会員でない方はぜひ会員になって活動を支えてください。カンパも歓迎です。

年会費は、個人 1,000 円、団体 5,000 円です。会計年度は 6 月 1 日から 1 年間です。

皆様のご支援・ご協力をどうかよろしくお願いいたします。